

令和3年度（第1回）北九州市公共事業評価に関する検討会議 議事録

日 時：令和3年8月5日（木）

11：00～11：50

場 所：ボートレース若松

（東棟3階）大会議室

1 事業内容説明について

案 件：【事前評価1】ボートレース若松施設整備事業

事業課：公営競技局 ボートレース事業課

～事業課より資料5に基づき説明～

2 内部評価結果について

～事務局より資料7に基づき説明～

3 質疑応答について

○構成員

10ページについての質問です。国庫補助金（環境関連）に関して検討中とありますが、どのようなものを検討されているのかということをお伺いできますでしょうか。

●事業課

国庫補助金等については、現状では、メニューがまだない状況ですから、今後、計画を進めていく中で、国のメニュー等が示されましたら、それを積極的に活用したいと考えています。

○構成員

今、ご説明いただいたところで言いますと、地方財政への貢献や公益増進ということで、資金調達の一つとして使われてきたと思いますが、現在は、資金調達の面はもちろん大きなものとしてあるのだけでも、スポーツの面やジェンダーレスみたいなところでいうと、今の社会に対してもPRできる場所が多いということで、今後、この施設としては、遊戯とか環境施設のような面も持っているというような説明があって、まさにその通りだなと思いました。

施設を視察してみて、西スタンドの方は、建設された当時のデザインなどがあるかもしれませんが、暗い感じもしますし、あらゆるところに痛みが見受けられたということで、来場される方の安全性を考えると、早めに改修することが望まれるかなと思います。

また、西スタンド棟については、12ページのような状況があるということで、老朽化対策は、早急に進めなくてはいけないのではないかと共感したところがございます。ただ1点、ここまでなるまで放って置いたのか、定期的に修繕は行っていたがこういう状況になってしまったのか、どちらの対応であったのかは、疑問に思っていて、今後も改修ですから建て替えるわけではないので、あらゆるところに何か生じてくることはあるので、適切に素早く対応できるような計画とか体制を取っておく必要が重要ではないかというふうに思いました。

つまり、経営戦略の方にも施設の状況等を記載し、定期的に修繕をするという計画を立てているかと思いますが、それ以外で突発的な事が起こった時にきちんと対応できるような体制は、今後改修してもなお続くところだと思いますので、そこらへんは十分にお考えいただけたいと思います。

また、計画のところで言いますと、スポーツパークというところで、新たに公益増進に繋がるような所を設置したいということで、ファンも獲得したいということで、こういった施設があったら、わくわくするだろうなと思いました。

そして、ボートレース若松に入って来る時に、どうしても積極的にいきたいという感じにはなっていないかなと感じるところがありましたので、明るい雰囲気というところは、地元の方にとっても大変満足度が上がるようなものになるのではないかと思います。そのため、パーク化をボートレースの収益の中でやっていくということですので、収益金を活用しながら、地元への貢献ということも計画的にやっていただけたらなというふうに思います。

このスポーツ施設のことで言いますと、振興会が打ち出しているイメージ図であるということで、この若松に置かれましては、色々な若松らしさというところも含めて、入ってくるのかなと思われまますので、北九州らしさ、若松らしさというところが、重要なのかなと思います。そうすると、大きいレースをやった時に、よくテレビなどで、どこを改修したとか選手が地域のフードを食べてとかいう話を聞くことがありますので、ここ目新しいよねというようなPRがあると、観ている方も行ってみたいくなるし、地元にいる方は、地域に良いものが出来たという自信にも繋がるように思います。

特に、北九州は環境にも配慮しているということもありますので、そういったところで、北九州らしさを作りながら、更には、スポーツパークの中で収益も上げられるような形というのが求められるのかなと思いますし、収益を上げていくと次の投資にも繋がり、施設やモノは、どうしても時代によってニーズが変わっていくため、半歩先に行くような形が望まれると思いますので、そういうところにも配慮をして、次の基本設計の段階に入っていただくと良いのではないかと思います。

○座 長

内容が多岐に渡ったが、特に、改修マネジメントをしっかりと行う体制について、どう考えているかということと、ボートレースパーク化をするときに若松らしさを取り入れることについてどう考えるか、また、収益を上げる仕組みをお考えかどうか、そのあたりはいかかでしょうか。

●事業課

北九州でよくある外壁が落下したりする事故があったりしたときに、建築都市局が施設所有者に対してすぐ緊急点検をやりなさいと、そういった一環の中でこの写真に載っているような実際にタイルを剥がして、とりあえずタイルを剥がしておけばそれ以上落下することがありませんので、その後は防錆処理をやった形で今は保存しています。屋根についても恥ずかしながらこういう屋根が飛んだのを書いていますが、これは予想もしていなかったところで剥がれたので、その後すべてのところで点検を安全を確保しております。この次の施設改修の時には、そういったところも含めて全体的にどう改修していくのかというのをやっていく所存であります。決して将来改修があるからほったらかしているというのはございません。

●事業課

収益についてなんですけれども、地域貢献エリアでお子様向けのパークとかを作ります。他場では、大人も子供も300円ほどいただいていますけれども、それをお支払いいただいて、一日遊んでいただけるような遊戯施設というか、そういうものも一部ございます。若松につきましても、今後、そういうものを含めて検討していきたいと考えております。

それから、北九州らしさとか若松らしさについてはですね、今後、基本計画案をつくるまでにいろいろ考えて中に盛り込んでいきたいと思っております。

○構成員

商工会議所の女性会の理事としてまいりました。女性の立場でお話しさせてもらえればと思っております。

ボートレース場に来たのは初めてで、果たして子どもを連れてくるところかということここに来るまでも感じていましたし、視察をさせて頂いた上でも、連れてこないだろうなというような感じを受けました。ただ、ボートレースの収益が、北九州市のためになっていると考えますと、どうかして中央競馬会のような感じに市としても持っていきたいんだろうなということを感じました。

そこで、地域貢献エリアゾーンのことですけれども、入ってきたときに、民間の住宅地とボートレース場がすごく近いので、交通の便は便利ではあるが、レース場に来たという感じがすごくするので、できれば緑で囲ってしまうとか、自然を感じられるようなエリアゾーンという風にして、ちょっと現実から離すように、緑がたくさんあって自然の場所に来ているイメージを感じられるような地域貢献エリアにさせていただければ、良いのではないかと思います。

それと、環境に配慮して事業をやっていかれるということで、太陽光などの設備ももちろんですけども、どうしてもボートレースと言ったら、海を汚しているというイメージもあるため、そこを払拭するような、色んなお母様方、女性の方がいて、ここに来た時に、海水に対しても優しいことをしているということを感じさせるような場所を作るなり、教育場面があったりしたら、よろしいのではないかと思います。

また、補修のところも25年経ったら、ボロボロになってしまうことについて、他のボートレース場はどのくらいのサイクルで、改修をされているのかを知りたいと思いました。

○座長

エリアのゾーニングですよね。いかにも投票券を買いに来たというかたちではなくて、まずはちょっと来ていただくというところに重点を置くようなエリアの設定というのが大事かと思います。

それと、他のボートレース場の改修について、実情どうなってますでしょうか。

●事業課

例えば、ボートレース鳴門はかなり老朽化した後にコンパクトにしようということで、コンパクトな施設に建て替えをしています。ただ若松はとても風が強いです。年間何日も強風でレースが中止になるようなところで、北風も強いですし、西風、それから台風になると南風とかですね、かなり強風のために安全で公正なレースができない状況にもなっております。この施設を取り壊すとか縮小すると風除けを別に作らないといけないものですから、現在のスタンドを置いたまま改修をするという方策をとってございます。

大体25年くらいすると、特に海の近くで潮風が当たりますので、結構建物にダメージが、特に外側とかは大きくなります。建った場所でボートレース場は違うと思うのですが、水辺に近い分建屋はダメージが大きいんですね。川のそばとか海とか湖のそばとかですね。大体25年くらいすると結構なダメージを受けてございます。福岡ボートも内装をやり替えたりとか近年行っております。

○構成員

1点目は、施設の雨漏りへの対応についてです。本施設については、海に近いですし、塩害とかもあり、雨漏りが躯体へ影響を及ぼす可能性がありますので、早急に修繕の可否を判断していかないといけないと考えています。雨漏りの及ぼしている影響がわからなければ、今後の改修費用の見積もりの妥当性を判断することが難しくなると思われまますので、早めにやるべきだと思われました。

もう1点は、資料を全部拝見すると分かることではありますが、市民への見せ方です。もうちょっとシンプルな見せ方を考えた方が良いのではないかと思います。今回28ページに書かれている、

現状収益の83億円や60億円は、西スタンドも含めた、今の事業が生み出している収益なので、この改修をしなかった場合には、現状の収益もなくなってしまう可能性があります。プラス8億にするための改修ではなくて、60億を維持するためにも必要な改修であるという視点が必要だと思います。こうした視点も含めて、今回の事業の必要性や、地域への貢献ということをしつかりとアピールしていったら良いのではないかと思います。

●事業課

もともとお客様の安全のために施設改修をするという大きな目標がありました。それとともに業界の方からお客様の新規の開拓ということで、ボートレースパーク化が出てまいりました。その打ち出しがあったものですから二つ同時にクリアしようということで今回の計画をさせていただいております。これにつきましては、一般会計とかそういうものに影響のないように、そのレベルでやっつけようということで、計画をさせていただいております。

繰り出しにつきましては大きなレースを誘致できればその分、支出した分がある程度戻ってくるという見込みが立ちます。また、大きなレースをするとそのレースだけではなくてその後の一般のレースもお客様がついて下さるという傾向がございますので、定期的に大きなレースをしないといけません。しかし、24場ありますので、レース数が限られている中でそこで若松を選んでいただかないといけない。そのためにいろいろとお客様に対しても中央団体に対してもアピールをしないといけませんので、それで今回の打ち出しをさせていただいております。

○座長

強風や塩害について、それに対する耐久性のある素材や工法等を使って長持ちさせていくという発想も必要かと思いますが、その一方で、それを行うと費用も上がっていくと思われるため、その兼ね合い、こまめなメンテナンスでいける部分は、ある程度通常のものでいいですけど、構造とかに関わる重要な部分は、多少の費用をかけても長持ちするようにやっていってバランスを考えてほしいと思います。そうすると、見積りをしっかりとっておかないと膨れ上がることになるかもしれないので、気を付けていただきたいと思います。

○構成員

まず1つは、西スタンド棟ですが、今回大規模改修されるということで見学させていただくと、もちろん内装とかもあります設備の方で結構お金がかかるのではないかと感じました。それと前は現金で買っていたものが世の中変わっていくにつれて、新しいものを入れていかななくてはいけなくなると思うのですが、将来的な見通しが立っているのかなというのがちょっと心配になりました。

それとパークの方についてはほかの先生方がおっしゃっていましたが、ここはエリア自体が工業団地の近くにあるということで、大きなトラックが通ったりすることも多いのかなと思いました。そうすると駐車場を公園にしたりすると本当に安全なエリアにできるのかなというのがちょっと心配になりました。その点についてはどうでしょうか。

●事業課

最初に機器の関係ですが、昔は、発売機などは買取りだったんですが、現在、ボートレース関連機器類はボートレース振興会とか中央団体の方が貸し出してくれるリースで、ボートレース場が払いやすいように分割で金利もつかないような状態でリースをして下さるとか、そういう支援がございます。発売機で一番お金がかかる場所は、現金を読み取る場所です。精度をどの位にするか、銀行のATMは比較的高いんですね、精度がいいものですから。それをどのくらいの精度にするかでかなり変わってきます。特に、現状は電話投票とかネットで買われるお客様が増えてきています

ので、うちの場合もキャッシュレスの機械を導入して、現金でなるべく買わない、そういうものを導入して経費を下げる方向で、キャッシュレスを入れますと現金を入金したり出金したりする機械が1台あればいい、あとは例えば30台はキャッシュレスの読み取りだけで構わないという、それが安いですね。そういう機器の整備をやっていきます。将来にわたってもそういう状況に変わっていくと思いますので、その辺の導入経費、ランニングコストは抑えられてくると思います。

パーク化のところの安全性の問題ですけれども、パーク自体は車がそんなに通れないような形にします。どうしても施設の保守とか、補修点検用の車とかそういう車両は入れないといけませんのでそういう動線は取りますが、普段は通れないような形で、ボートレースを買いに来て下さるお客様の駐車場とはきっちりと分けた形で運用できるようにその辺は考えていきたいと思っております。

○構成員

この事業として、しっかり儲けが出る形の魅力的なものを作ってくださいということだと思います。市が関与するという点においていえば、収益が一般財源に組み込まれることによって、若戸大橋の無料化に寄与できていたことが市民に伝われば必要性の理解もしやすいと思います。これが一般財源が色んなところに薄く広くいくと分かりにくいですが、あの施設はこれの財源なんですと言ってくると、我々は必要なんだと素直に理解できるので、PRの仕方をもうちょっと考えていただきたいと思います。

また、地域の魅力をどう上げていくかということに寄与していただきたいと思います。この意味で避難場所としての防災の位置付けをもっと打ち出していただければと思います。周りの人たちの安心・安全を確保し、いざという時に役に立つこと、災害の時にこういうことが役立つような機能を埋め込んでおきますというようなアピールをしていただきたい。費用の問題もあるかと思うが、そのあたりをもっと打ち出していただいた方が良いと思いました。レジャー施設だけでも防災にも役立つ、レジャー施設だけでも何かに役に立つというようなものの表現の仕方をもっと気を付けてされた方がいいかなと思います。

今、ちょうどオリンピックが開催されていて、今日ボートレース場が空いているからレガッタの練習が出来ないかなとか、それは教育施設ではないですから、みたいなことをもう言う時期ではないのではないか、そういう横串とか複合化みたいなことをやる余地を探していくことが、みんなに愛される場所になっていくかなと思います。

●事業課

ご意見ありがとうございます。補足になりますが、集客施設として、魅力的なものという意見をいただきましたので、我々もきちんと収益が確保できるというような施設を目指したいと思っております。その中で、北九州らしさをということなので、環境に配慮した施設、環境都市としてのアピールというのは、そのあたりでセールスポイントになればと思っております。今後検討を進めていく中で考えていきたいと思っております。

あとは、市民へのアピールということで、収益あるいは繰り出しがどんな形で市民へ役立っているか、また、防災施設として、現在も防災の機能はありますが、きちんとアピールをして、市民の方へ伝えていきたいと思っております。

費用面についても、シビアに検討していきながら、安全性を十分に確保していきたいと思っております。

○座長

一通り、委員の方からご意見いただきましたけれども、私の方から一点だけ。

新規ファンというのは、ファミリーを想定しているということで間違いないでしょうか。

●事業課

現状で女性のお客様が3割くらい来ていただいております。ファミリー層の方も大体3割近く位です。それは、他のレース場の倍くらいです。

○座長

女性層3割、ファミリー3割ということですか。3，3ということですね。

●事業課

多分女性の方の配偶者の方ですとかお子様とかですね、その家族で来られているんじゃないかと思えますね。

○座長

その調査は、きちっとされているということですかね。

●事業課

毎年じゃないですけども、振興会の方で、そういう調査をやっています。

○座長

以前、視察をした時に、若い女性が多くて、カップルが多くて、デートをしながらボートレースを楽しんでいる姿を見たので、ファミリー層で固めていいのかなと思っていて、基本設計に入るまでにしっかりとコンセプトを固めた方が良いのではないかと思います。

若い人たちのデート場所として設定するなどそういうやり方もあると思います。ファミリー層は、時間がかかると思っていて、お子さんが大きくなってここにまた来てもらうというのが、狙いだと思いますが、少額でも若い人がやれるような、それも一つカテゴリーとしてあると思いますので、どっちつかずにならないように、もう一度検討していただければと思います。

○座長

それではご意見をいただきましたので、ここで皆様の意思確認をしていきたいと思えます。

構成員の皆様の一つ、確認しておきたいと思っております。基本的に、当該事業をこの計画で進めていくことに対して、ご異議、ご意見等はございませんでしょうか。

(異議なし)

異議なしということでよろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは、当該事業については、この計画どおり進めることを前提としたうえで、検討会議としての意見を整理しておきたいと思えます。

まずは、新規事業に関わらず、全体として、ファシリティマネジメントについて、改修のマネジメントをしっかりと行う体制や仕組み等をマニュアル化して、明確にしてほしい。また、現時点で、改修が必要な箇所がいくつかあるため、今一度見直しを行っていただきたいというのが1点目になります。

2点目につきましては、改修にあたって、若松らしさや北九州らしさを出しつつ、収益をきちんと確保していくというところをお願いしたい。

3点目は、新規ファンに対応するゾーニングについて、自然を感じられるエリアやファミリー層のニーズに合ったエリア等になるように上手なゾーニングをお願いしたい。そして、その際には、

安心・安全な施設運営ができる形で運営にあたっていただきたいということでございます。

それとあと、強風や塩害に晒されるロケーションであるため、耐久性のある素材や工法等を活用し、重要な箇所については、しっかりと取り組んでいただきたい。一方で、費用等がかさむことがあると思われるので、計画や見積りを正確にお願いしたいというのが4点目になります。

5点目ですけれども、市民の理解を得るために、きちんとPRの工夫をしていただきたい。特に防災拠点としての位置付けや役割、それから市民の憩いの場であるというところをきちんとアピールしていただきたいということでございます。

最後に、既存の施設あるいは、新設する施設について、多角的な利用を教育効果等も含めて、ご検討いただければというところでございます。

以上、6点について、このような意見を公共事業評価に関する検討会議の意見としたいと思いますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございました。

それでは具体的な記載内容につきましては、座長である私がお預かりしまして事務局と調整させていただきます。よろしいですかね。

(異議なし)

本日の会議資料に議事録については後日市のホームページに掲載することになりますが、議事録については私が事務局と調整させていただきたいと思います。

それでは今後の予定につきまして事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

ただいま委員の皆様のご理解をご了承いただきましたとおり、ボートレース若松施設整備事業につきましては、現計画のとおり事業を進めさせていただきたいと思います。

今後の予定といたしましては、本日の検討会議の意見を踏まえまして、市が対応方針案を作成し、パブリックコメントの手続きに入らせていただきたいと思います。以上でございます。

○座 長

ありがとうございました。

それではこれで本日の検討会議を終了したいと思います。皆さん、大変、お疲れ様でした。